

地域を支える事業所の 意外と知られていない活動

日本赤十字社
新潟県支部

新潟市水道局



新潟にできて
今年で133年目

当支部は、明治20年に設立され、今年で133年目を迎えました。当初は、営業所通2番町に事務所がありましたが、昭和49年、関屋下川原町に赤十字会館を建設し、現在に至っています。会館には、血液センターも同居していましたが、令和2年3月に美咲町へ移転し、赤十字病院も長岡市に所在しています。

会館には、関屋小学校のみなさんも校外学習に来ています。

関屋小学校区コミュニティ協議会においても、防災訓練への協力、地域住民及び小学校児童への救命手当講習を実施しております。

現会館は、間もなく築後50年を迎え、老朽化が進んでおります。そのため、「いのちをまもる」活動を「みらいにつなぐ」ことができるよう、現有地にて新会館の建設を計画しています。みなさまからも、気軽に足を運んでもらえるような赤十字であります。これからもよろしくお願ひいたし



県内新1年生に黄色い帽子を贈呈しています。(関屋小学校での贈呈)



救命手当の講習会も開催しています。(現在は、新型コロナウイルス感染防止から講習は中止しています)

**いのちをまもる
みらいにつなぐ**

いのち、健康、尊厳を遵守

日本赤十字社
新潟県支部

柳都物語

【販売場所】
・新潟市役所本館地下売店
・新潟市職員生活協同組合
・公益財団法人 新潟水道
サービス
(中央区紫竹山1-5-10)

【価格】
90円(税込)(1本500ml)

販売のご案内



信濃川浄水場

名前の由来は?

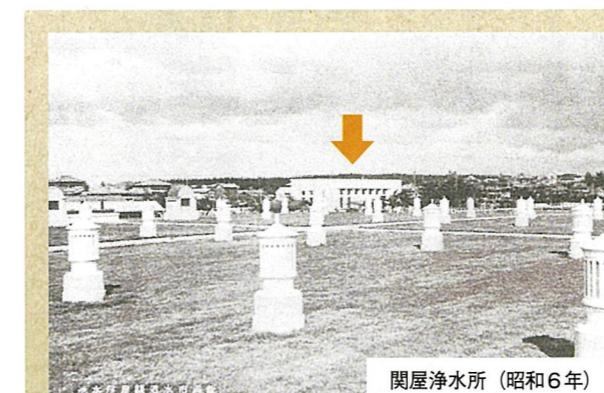
2005年6月の水道週間イベントの参加者から募った240点の中から選定しました。柳都は港町として歴史のある「水の都新潟」を彷彿と

させ、言葉に美しい響きを持っています。原料は信濃川浄水場で高度浄水処理をした水道水をペットボトルに詰めました。

災害の飲料水の備えはお済ですか?

大規模災害が発生した場合、復旧体制が整うまで3日程度を要します。それまでの期間、最低1人1日3l程度の飲料水が必要と言われており、柳都物語は製造日から2年間の保存が可能なため、備蓄水として有効です。これを機に災害時の水の備えについて、考えてみてはいかがでしょうか。

* 関屋浄水所
本局庁舎
(関屋下川原町)の
ビフォーアフター



関屋浄水所(昭和6年)

現在関屋にある本局庁舎の敷地には、事業創設時の明治晚期から昭和中期にかけて、関屋浄水所という今までいう浄水場があり、当時の西新潟と沿垂地区へ水道水を配水していました。昭和45年3月に施設の老朽化などにより、現在の青山浄水場の完成に伴い稼働を停止しました。

89年後



新潟市
水道局

* 本市水道事業の沿革
明治40年12月に当時の原敬内務大臣から「水道布設認可」をうけ、本市の水道事業が創設されました。その後、水需要の増加に伴い幾度にわたり事業の拡張を重ねてきました。平成へと時代がうつると、市町村合併等の社会情勢の変化に柔軟に対応すべく、施設の統廃合などを進め、適切な事業経営に努めてきました。

89年後



本局庁舎(令和2年)

ご存じですか? 新潟の
おいしい水道水 「柳都物語」

新潟市
水道局